東北地方整備局　入札監視委員会（第一部会）　審議概要

<table>
<tr><td colspan="2">開催日及び場所</td><td colspan="2">平成２９年１２月１１日（月）　東北地方整備局　大会議室</td></tr>
<tr><td colspan="2">委員</td><td colspan="2">部会長　久田　真　【(国) 東北大学大学院 工学研究科 教授】
部会長代理　泉田　成美　【(国) 東北大学大学院 経済学研究科 教授】【欠席】
委員　大泉　太由子【(一社)東北圏地域づくりコンソーシアム 理事】
委員　鈴木　覚　【弁護士】</td></tr>
<tr><td colspan="2">審議対象期間</td><td colspan="2">平成２９年　７月　１日　～　平成２９年　９月３０日</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">審議案件</td><td>総件数　９件</td><td>（別紙－１　審議案件一覧のとおり）</td></tr>
<tr><td>工事
一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象）
一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象以外）
工事希望型競争入札
指名競争入札
随意契約
建設コンサルタント業務等
役務の提供等及び物品製造等</td><td>１件
５件
０件
０件
０件
２件
１件</td><td>（備考）
(1)工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況
(2)指名停止等の運用状況
(3)談合情報等の対応状況
(4)再度入札における一位不動状況
(5)低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況
について報告を行った。</td></tr>
<tr><td colspan="2">委員からの意見・質問、それに対する説明・回答</td><td colspan="2">別紙－２のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="2">委員会による意見の具申又は勧告の内容</td><td colspan="2">別紙－３のとおり</td></tr>
</table>

審 議 案 件 一 覧

別紙－1

【工事】

入札方式	工 事 名	工 事 種 別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事）	国道45号　気仙沼湾横断橋小々汐地区上部工工事	鋼橋上部工事	3	3	H29.7.27	国道45号　気仙沼湾横断橋上部工工事MMB・宮地・川田特定建設工事共同企業体	11,301,714	90.0	仙台

入札方式	工 事 名	工 事 種 別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	湯沢河川国道管内道路構造物補修工事	維持修繕工事	3	3	H29.9.8	（株）佐々木組	88,560	89.5	湯沢
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	南陽地区歩道整備工事	一般土木工事	2	2	H29.8.9	葉山建設（株）	236,952	99.9	山形
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	志津地すべり大越川ブロック対策工事	さく井工事	4	4	H29.8.3	（株）柿崎工務所	135,000	94.7	新庄
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	寒河江ダム取水設備修繕工事	機械設備工事	1	1	H29.8.10	（株）IHIインフラ建設	79,920	98.7	最上川統管

入札方式	工 事 名	工 事 種 別	指名業者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
工事希望型以外の指名競争入札方式	大槌第2トンネル電気室新築外4件工事	建築工事	30	2	H29.9.11	（株）佐賀組	346,680	99.9	南三陸

【建設コンサルタント業務等】

入札方式	業 務 名	業 種 区 分	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
簡易公募型競争入札方式	北上川下流管内（北上川水系）河川区域土地調査	補償関係コンサルタント	9	8	H29.9.1	（株）みちのく計画	4,828	65.1	北上川下流
簡易公募型競争入札方式	象潟栗目木沢橋詳細設計業務	土木関係建設コンサルタント	11	10	H29.8.10	(株)オリエンタルコンサルタンツ	39,722	79.7	秋田

【役務の提供等及び物品の製造等】

入札方式	業 務 名	業 務 分 類	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
一般競争入札方式	防舷材製造	物品の製造等	2	2	H29.9.20	シバタ工業（株）	269,676	70.9	道路部

別紙－２

１．報告

意見・質問	説明・回答
・今回、全体の工事件数は減少しているが、逆に金額の大きい大規模工事の多い理由は。	・今期対象の工事の多くは三陸自動車道関係で、平成３２年度の完成を予定している。トンネルや橋梁等の大規模構造物は３ヶ年国債による発注が多いため、今回１件あたりの金額の大きい工事が増えたものと思われる。

２．審議

意見・質問	説明・回答
１　国道４５号気仙沼湾横断橋小々汐地区上部工工事	
・今回の受注ＪＶが他の箇所の工事にも参加しているのか。	・参加している。
・参加した３者全てＪＶだが、他の上部工工事には単体業者として参加しているのか。	・鋼橋上部工の場合、１５者から２０者の参加で行われており、３ＪＶを組んだ９者は通常、単体業者としてほぼ参加している。
・単体業者とＪＶでは審査を行う上での違いはあるのか。	・技術的難易度が高く、工事費がおおむね２０億円以上の場合は、ＪＶでも参加可能となるが、技術提案の審査を行う上での違いは無い。 　斜張橋は施工事例が少ないため、各者の特徴を生かそうと、今回初めて３者ＪＶになったものと考えている。
２　湯沢河川国道管内道路構造物補修工事	
・工期を過ぎているが工事は終了しているのか。	・１２月末まで工期を延長している。
・維持修繕の場合、現地で不具合が見つかることもあると思うが、それについては変更で直していくということでよいか。	・現地調査を行い補修の必要な箇所が見つかれば増工で対応している。
・技術資料提出が可能な業者２１者の内参加者が３者と少なめだが、補修工事の入札者数はだいたいこのような業者数となるのか。	・過去５年を見てみると、維持補修工事も含め３者弱程度である。
３　南陽地区歩道整備工事	
・道路の拡幅ということで民家の移設は伴うのか。	・今回、民家の移設は伴わない。

・２ヶ年で行う工事だが、雪の関係で冬場工事が止まるからなのか。	・冬期間においては、降雪状況により施工に制約はあるが、基本的には除雪をしながら工事を進めている。今回は、工事量から工期が年度を超えて必要となるため２ヶ年としている。
・参加者が２者ということで、道路の拡幅工事も利益が少なく人気がないのか。	・山形管内の交通安全事業については、入札参加者が平均３者程度と少ない状況である。
４　志津地すべり大越川ブロック対策工事	
・地すべり対策工事では、さく井工事が一般的なのか。	・アンカーを使った抑止工もある。抑制工としては、地下水位が浅い場合、集水ボーリングで可能であるが地下水位が深くなってくると、さく井工事が一般的である。
・業者にとって特殊な工事ではないのか。	・すごく特殊ということではないと思っている。
・耐久性確保の面から、今後の維持管理についての配慮はあるのか。	・地すべり面を切らさないように施工する工夫を行っている。また、完了後は地すべり関係施設として定期的に点検するなど適切に維持管理していく。
５　寒河江ダム取水設備修繕工事	
・ワイヤーロープは､傷んだら取り替えるのか、定期的に取り替えるのか。	・点検しながら劣化状況を把握し取り替えることになる。
・今回の業者が設置業者なのか。	・設置業者のメンテナンス部門が移管されて出来た業者である。
６　大槌第２トンネル電気室新築外４件工事	
・一般競争の不調の理由は何か。	・工事場所が沿岸部であり、場所も離れていることで資材の搬入や従業員の調達がしにくいことが考えられる。
・一般競争が不調で指名競争となったが、一棟で不調だった時は、まとめるようなことは度々あるのか。	・当事務所としては、初めてである。
７　北上川下流管内（北上川水系）河川区域土地調査	
・落札率が低い理由は何か。	・難易度が高くなかったことが考えられる。
・境界杭の設置は順次行われるのか。	・時間が経過することによる劣化や官民境界が不確定なところなど優先順位を考え計画的に進めている。
・受注した業者はいつも参加している業者か。	・最近では２６年度から参加している業者である。

８　象潟栗目木沢橋詳細設計業務	
・県境部であり担当する事務所が違うことで、設計上の問題はないのか。 ・ロケーションから耐久性に配慮した工事の必要がある。耐久性の確保についてはしっかりしているのか。	・接続部については、両事務所で調整しながら行っているので問題はない。 ・沿岸部でもあることなので、耐久性に十分配慮し設計を行うこととしている。
９　防舷材製造	
・落札率が低い理由は何か。 ・製造納入ということで、設置についてはどうなるのか。 ・橋の下部には必ず付けるのか。 ・製造・納入実績のある業者６者とは、東北で６者か。	・防舷材の製造は、今回、初めてであり理由は分からない。 　なお、製品については性能基準を定めており、品質は確保されるものと考えている。 ・下部工工事での設置となる。 ・海上では、船舶が通るところに付けることが基本である。 ・全国で６者ある。

別紙－３

３．委員会による意見の具申又は勧告内容

本日の審議案件について、意見の具申又は勧告事項はない。

ただし、今後の入札契約手続きにおいて意見要望がある。

・落札率が高い低いの理由に関して、推測ではなく何故そうなったのか実態を確認していただくとありがたい。
・入札監視委員会の範疇ではないのかもしれないが、良質なインフラを如何に生産性を高く整備するかというところに注力されている状況と推測しているが、例えば設定するテーマにおいて、「耐久性を確保しつつ供用中の維持管理の確実性を確保するために配慮すべき事項」などと設定することで、発注の段階で良質なインフラ整備につながるところもあると思われる。また、補修についてもどんな状況のものをどのような方法で直したのかということの記録をしっかり残すなど、今後のインフラ整備に役立てていただければ良いと思う。

今後とも、入札及び契約手続きにおける一層の透明性及び競争性の確保など、入札・契約業務の適正な執行を図っていただきたい。

【当局からのコメント】

意見要望のありました１点目については、落札価格に関して推測ではなく実態に即したものにすべきではないかということ。２点目については、テーマ設定の際にも一歩踏み込んで、将来にわたり良いもの維持管理しやすいものとなるよう、今後の発注の参考にさせていただきたいと考えている。

委員の皆様方からの疑問やご意見を含めて今後の入札・契約業務に反映させていただく。
また、さらなる透明性競争性の確保に努めてまいりたい。